

報告事項5 令和3年度委員会報告

委員会報告

〔 1 〕 教育委員会

委員長 増満 誠

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 9回(WEB開催5回)(中止3回/予定より早い進捗と議題延期のための不要含む)
- 2) 検討事項
 - (1) 研修計画の修正
 - (2) 研修応募状況
 - (3) 研修実施の評価
 - (4) 令和4年度研修計画の検討
 - (5) 令和4年度事業計画の検討
 - (6) 教育委員会規定・内規の検討

2. 活動報告

1) 研修会等開催

令和元年度に再構築された「教育理念」「教育目的」「教育目標」「教育研修分類」に沿って、オンデマンド8研修と集合39研修を企画した。新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて柔軟に研修方式(集合・オンライン・ハイブリッド)や運営方法を変更し、できる限り中止することなく下記の通り開催した。

区分	回数	日数	定員数	応募者数	受講者数
集合・オンライン	38	43.5	6,512	5,592	4,003
オンデマンド	8	—	—	3,518	3,403

※中止1研修(申込数が開催規定数に満たなかったため)

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 令和3年度と同様に、感染拡大時にも対応しうる研修を準備する必要がある。基礎的内容はオンデマンド研修、発展的内容は対面研修など新しい研修スタイル(オンデマンド、収容人数等)に合わせた構成を検討する。
- 2) 研修評価のために、申込や受講状況、アンケート結果及び委員や関係者による受講評価、これらの指標を組み入れた評価シートを用いる。併せて日看協の研修分類や教育目標の網羅性を踏まえた研修内容を検討する。
- 3) 委員会(教育、新人、感染、医療安全)を超えた重複内容による研修のスリム化、区(差)別化を一層図るとともに、ラダーの対象の幅についても検討を行う。
- 4) 県内のリソースナース(高度実践看護師など)を活用し、近隣施設とのつながりの強化や顔の見える関係の構築の機会となる研修を企画する。
- 5) 福岡県看護協会が企画するというスケールメリットを活かし、著名な全国の講師を招聘することで、最新の情報に触れる機会を設ける。
- 6) 委員会運営の円滑化のために評価シートを共有するクラウドシステムの活用を検討する。

〔 2 〕 新人看護職員研修運営委員会

委員長 中村 千夏子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 6回(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、うち3回はWEB会議)
- 2) 検討事項
 - (1) 委員会活動スケジュールについて
 - (2) 令和3年度新人看護職員(研修責任者・教育担当者・実地指導者)研修プログラムの検討
 - (3) 令和3年度新人看護職員研修アドバイザー派遣事業について
 - (4) 令和4年度新人看護職員多施設集合研修企画・プログラムの検討
 - (5) 令和4年度新人看護職員(研修責任者・教育担当者・実地指導者)研修プログラムの検討
 - (6) 令和4年度新人看護職員研修アドバイザー派遣事業について

2. 活動報告

1) 研修会等開催

(1) 研修名 福岡県新人看護職員研修責任者研修(県委託事業)

開催日 9月14日、9月16日、9月17日、9月21日、令和4年2月2日

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された研修責任者または看護師資格を有する管理者(看護師長以上、看護部長含む)

受講者 50名、修了者 50名

(2) 研修名 新人看護職員教育担当者研修(県補助事業)

開催日 1回目:11月2日、11月8日、11月9日、11月11日、令和4年2月28日

2回目:11月12日、11月16日、11月17日、11月22日、令和4年3月2日

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された教育担当者としての役割を担う看護師資格を有する者、その任にあたる予定の看護師資格を有する者

受講者 1回目:60名、2回目:58名、修了者 1回目:60名、2回目:56名

(3) 研修名 福岡県新人看護職員実地指導者研修(県委託事業)

開催日 1回目:3年9月28日、9月29日、9月30日、10月4日、令和4年2月4日

2回目:3年10月6日、10月8日、10月12日、10月14日、令和4年2月14日

3回目:3年10月19日、10月22日、10月25日、10月26日、令和4年2月24日

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された実地指導者としての役割を担う看護師資格を有する者、その任にあたる予定の看護師資格を有する者

受講者 1回目:58名、2回目:58名、3回目:57名、修了者 1回目:56名、2回目:57名、3回目:52名

(4) 新人看護職員多施設集合研修(県補助金事業)

①フレッシュナースセミナー(180分)、受講者 829名

②感染予防の基礎知識(120分)、受講者 478名

③看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ～呼吸・腹部～(120分)、受講者 619名

④看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ～循環・脳神経系～(120分)、受講者 623名

⑤基礎から学ぶ医療安全(約120分)、受講者 423名

⑥基礎から学ぶ褥瘡予防(約120分)、受講者 391名

※6 研修をオンデマンドで配信

配信期間 ①～④:6月1日～10月4日、⑤・⑥:9月1日～令和4年1月4日

(5) 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業(県補助金事業)

対象施設 医療法人 古森病院(事業1年目)、アドバイザー 九州大学病院 江口恭世氏

3. 今後の課題・検討事項等

- ・新人看護職員研修の企画、プログラム策定、実施、評価
- ・新人看護職員研修アドバイザー派遣事業の受入施設公募・アドバイザー登録制度・選出について
- ・県内病院施設を対象とした新人看護職員教育体制整備等についての実態調査

[3] 社会経済福祉委員会

委員長 仲村 亜依子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 7回

2) 検討事項

- (1) 訪問看護事業所と介護保険施設で働く看護師が受ける暴力・ハラスメント調査分析
- (2) 研修会企画・運営について
- (3) 次年度計画、予算について
- (4) 日本看護学会演題提出について

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 3委員会合同活動に係わる3委員長会議 2回 参加者2名

2) 研修会等開催

(1) 研修名 「みんなで目指すヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」

開催日 10月27日

講師 元宇部フロンティア大学 人間健康学部 看護学科 教授 原田 博子 氏
公立羽咋病院 玉田 千秋 氏
潤和会記念病院 小柳 優美子 氏

内容 ・ヘルシーワークプレイスの概念および働き方改革が必要な現状
・看護業務の効率化 先進事例アワード2020年より事例報告 2事例

対象 すべての看護職

受講者 91名

4) その他

- ・訪問看護事業所と介護保険施設で働く看護師のハラスメント調査に対し、関西医科大学看護学部 三木 明子教授からの助言を共有した

3. 今後の課題・検討事項等

- ・日本看護協会が示す働き改革の周知、県内の実態把握の検討
- ・訪問看護事業所と介護保険施設で働く看護師が受ける暴力・ハラスメント調査結果に関する報告(日本看護学会・福岡県看護学会等)

[4] 学会委員会

委員長 野間口 里香

1. 委員会開催状況

1) 委員会10回

2) 検討事項

(1) 第21回福岡県看護学会(令和3年度開催)について、下記9項目を検討し決定した

①運営方法 ②シンポジウム ③抄録選考 ④口演座長 ⑤プログラム ⑥研究発表支援員
⑦特別企画 ⑧発表者と支援員のための説明会及び面談会 ⑨集録集

(2) 第22回福岡県看護学会(令和4年度開催)について、下記10項目を検討し決定した

①運営方法 ②学会テーマ ③特別講演 ④シンポジウム ⑤ポスターチャシ ⑥学会実施要綱
⑦特別企画 ⑧広告掲載企業 ⑨研究発表支援員マニュアル ⑩令和4年度のスケジュールに関して

2. 活動報告

1) 研修会等開催

(1) 研修名 「第21回福岡県看護学会 Power of Smile Nursing」完全オンデマンドで開催

開催日 12月11日～令和4年2月11日

内容 ①口演発表27演題

②特別講演「未来へ向けて受け継ぐもの 築くもの」

講師 太宰府天満宮 顧問/文化研究所主管学芸員 味酒 安則 氏

座長 福岡県看護協会 会長 大和 日美子 氏

③シンポジウム「感染から自分を守り、社会をまもる看護

～【COVID-19】その時、私たちはどう向き合ったか～」

講師 日本赤十字九州国際看護大学 教授 倉岡 有美子 氏(コーディネーター)

新小文字病院 看護部長 成瀬 早苗 氏(シンポジスト)

福岡東医療センター 感染管理認定看護師 加治 大輔 氏(シンポジスト)

福岡市民病院 看護師長 長谷 久美子 氏(シンポジスト)

④特別セッションⅠ「コロナ禍での看護学生の実習及び新人教育の取り組み報告」

講師 福岡女学院看護大学 教授 八尋 陽子 氏

福岡大学病院 新人教育担当主任看護師 竹下 恵美 氏

那珂川病院 教育担当責任者 江口 智美 氏

⑤特別セッションⅡ「看護師さん必見！スキンケア・メイクアップのコツ」

講 師 資生堂ジャパン株式会社

対 象 看護職及び看護学生

参加者 610名(発表者含む)

2) 交流会・情報交換会等

(1) 面談会 「発表者と支援員のための説明会及び面談会」

開催日 7月9日 ※開催日に参加できない場合は、別日にてオンラインにて開催

内 容 学会発表者の研究に対して原稿のまとめ方の支援を行い、最終原稿作成までを支援する

対 象 学会発表者及び発表者を支援する支援員

参加者 24名(発表者12名・支援員12名)

3. 今後の課題・検討事項等

第21回福岡県看護学会では多くの方からいただいた励ましの言葉に感謝をしつつ、今度は私たち看護職から皆様へ笑顔を力に変えて届けられるようにと考えて「Power of Smile Nursing」をメインテーマに企画した。

2021年度も新型コロナウイルス感染症により、医療も生活も、2020年度に引き続き対応と変化を求められた一年となり、本学会も集合開催から完全オンデマンド学会へと運営方法変更をしたが、27題の発表があり、看護への歩みは止まる事なく進んでいる事を確認できた学会となった。

特別講演は、太宰府天満宮 顧問/文化研究所主管学芸員の味酒安則先生による「未来へ向けて受け継ぐもの 築くもの」の講演だった。コロナ禍の現代だからこそ、人は何を大事に考え、何を受け継いでいくべきなのか、古の時代から現代に生きる私たちが継承していくものについて、看護職として考える機会となった。

次年度も新型コロナウイルス感染症の対応で、完全オンデマンドでの開催を予定している。本年度の運営を基に多くの方が参加しやすい方法を委員会で検討し開催したい。

[5] 看護の進路・進学支援委員会

委員長 森 雄太

1. 委員会開催状況

1) 委員会 10回(中止1回)

2) 検討事項

- (1) 看護学校と職場の情報交換会について
- (2) 進路指導に活かす「看護への道」説明会について
- (3) 看護の出前授業について
- (4) 「看護職を目指すあなたへ」パンフレット改訂について
- (5) 「看護学校と職場の情報交換会」活動報告書の発行について
- (6) 次年度計画について

2. 活動報告

1) 交流会・情報交換会等

(1) 進路説明会 進路指導に活かす「看護への道」説明会(オンライン)

開催日 5月12日

内 容 看護学校教員および看護師より、それぞれの立場から看護職に関する情報提供を行った。

対 象 中学校、高等学校の教員

参加者 18名

(2) 情報交換会 看護学校と職場の情報交換会(オンライン)

開催日 8月18日

内 容 看護学校の教員と医療施設の看護職者にて、学生や新人看護師に関する情報交換会を行った。

対 象 看護師養成所教員、臨床の看護職員、卒後教育担当者

参加者 74名

(3) 情報交換会 出前授業連絡会(オンライン)

開催日 11月17日

内 容 出前授業に出向く講師または講師登録を検討している方に向け、出前授業に関する情報発信及び情報共有を行った。

対 象 出前講師登録者・登録予定者、施設管理者等
参加者 55名

2) その他

- (1) 令和3年度看護学校と職場の情報交換会の報告書作成
8月に開催した情報交換会について活動内容、参加者からの意見、委員内で検討した意見等を報告書に記載し、情報発信を行った。
- (2) パンフレット「看護職を目指すあなたへ」の改訂
パンフレットに掲載する内容を委員にて分担して検討し、看護学校や看護職に関する情報を掲載した。
- (3) よかナースへの活動内容の掲載
広報誌「よかナース」に委員会活動内容を掲載した。

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度の企画は全てオンライン開催となった。委員会ではオンライン開催に向けた研修内容、運営方法を検討し、参加者が他者と意見交換ができるように進行をすることができた。

各企画会のアンケート内容は、比較的満足しているとの回答が多く、オンラインであったことで遠方からの参加や勤務中に参加できるなどの意見もあり、前回の開催時より参加者が多い研修もあった。また参加者の意見を集約し、委員内で考察を加えた報告書を作成したことで、活動内容を外部へ発信することができた。

今後も令和3年度の活動内容を継続しつつ、より多くの参加者と幅広い立場の方々に参加ができるよう研修会の広報活動と、より活発な会となるよう企画、運営方法を検討する。

[6] 医療安全推進委員会

委員長 下川 さえ子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 9回(中止3回)
- 2) 検討事項
 - (1) リスクマネージャー研修の検討
 - (2) 医療安全研修の検討
 - (3) 医療安全管理者養成研修(日本看護協会委託事業)の演習内容の検討
 - (4) 看護職賠償責任保険の案内用のパワーポイントの検討と決定
 - (5) 令和4年度事業計画・研修計画

2. 活動報告

1) 研修会等開催

- (1) 研修名 リスクマネージャー研修
開催日 6月24日
講師 九州大学大学院医学研究院 准教授 鮎澤 純子氏
内容 医療事故の未然防止、事故発生時の対応について
対象 医療安全管理者(専従、専任、兼任)
受講者 64名
- (2) 研修名 医療安全研修
開催日 令和4年2月25日
講師 宮崎大学医学部附属病院 教授 板井 孝太郎 氏
内容 臨床倫理とDNARについて
対象 医療安全に関心のある看護職以外も可
受講者 95名
- (3) 研修名 医療安全管理者養成研修(演習) [日本看護協会委託事業]
開催日 令和4年1月16日、23日
講師 戸畑共立病院 水落 久子 氏
演習講師 北九州医療センター 村田 光代 氏

内 容 医療安全文化の醸成(講義・演習)
対 象 医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者
受講者 120名

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度もこれまでと同様、医療安全管理者の養成・支援及び医療安全に関心がある看護職の学びにつながる内容の研修を企画・運営した。特に、医療安全研修では、臨床倫理という日ごろから悩みの多いテーマの研修を行った。講師のわかりやすい説明で、問題解決につながる研修となったと考える。

次年度以降は、医療安全管理者役割を念頭に置きながら、管理者の支援に焦点を当てた研修を企画していくこととする。

また、今年度から医療安全管理者養成研修が初めて日本看護協会委託事業となった。1日の講義・演習を医療安全推進委員会が担当することになったため、企画の段階からかわり1年間かけて内容を検討した。また、講師・演習講師も委員2名が担当した。次年度も今年度の評価を考慮しながら、より成果が出せるように検討していきたい。

〔 7 〕 災害看護委員会

委員長 吉開 香織

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 7回(中止3回)
- 2) 検討事項
 - (1) 災害支援ナース育成研修(基礎編・実務編)・災害支援ナースフォローアップ研修 企画・運営・評価
 - (2) 災害看護支援マニュアル改訂にむけた協議
 - (3) 令和4年度事業計画及び予算(案)の検討

2. 活動報告

- 1) 会議等
 - (1) 2021年度都道府県看護協会災害看護担当者会議(日本看護協会) 視聴1名
- 2) 学会・研修等参加
 - (1) 2021年度災害支援ナース育成研修企画指導者研修(WEB)
開催日：令和4年2月17・18日 参加者：2名
- 3) 研修会等開催
 - (1) 研修名 災害支援ナース育成研修(基礎編) ハイブリッド研修
「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～(基礎編)」 JNA収録DVD研修
開催日 7月28日・29日
講 師 国立病院機構災害医療センター 小井土 雄一、国際医療福祉大学大学院 石井 美恵子、国立病院機構災害医療センター 河嶌 譲、日本看護協会 鎌田 久美子、熊本県健康福祉部健康局 岡 順子、くまもと県北病院 松崎 とよ子、社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 松野 ひとみ、福岡県看護協会災害看護委員会 吉開 香織
内 容 災害医療の基礎知識／災害時に求められる看護支援活動／災害サイクル別疾病構造と看護 災害時の心理変化とこころのケア／看護協会の災害時看護支援活動 災害時の保健師の役割と災害支援ナースとの連携／災害支援ナースとしての活動の実際(避難所支援・病院支援)／災害支援ナースの活動報告・登録・更新の手続き
対 象 保健師、助産師、看護師、准看護師
受講者 78名、修了者 77名
 - (2) 研修名 災害支援ナース育成研修(実務編) 集合研修
開催日 12月6日・7日
講 師 福岡県保健所長、福岡県医療指導課職員、災害看護委員
内 容 DHEAT、福岡県の災害医療体制、災害発生から派遣～現地での活動～帰還までの机上シミュレーション
対 象 災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者

受講者 59名、修了者 59名

(3) 災害支援ナースフォローアップ研修 集合研修

開催日 11月16日・17日

講師 福岡県保健所長、福岡県医療指導課職員、災害看護委員

内容 講義(DHEAT、福岡県の災害医療体制、新型コロナウイルス感染症における避難所運営)
演習(活動計画立案のポイント、情報整理、アセスメント、問題点の抽出、活動方針の立案)
活動報告

対象 災害支援ナース登録者

受講者 104名、修了者 104名

4) その他

・日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練 11月9日～11日

3. 今後の課題・検討事項等

災害支援ナース育成研修については、基礎編は今年度から協会事務局での実施となり、災害看護委員は2日目の災害支援ナースの活動報告・登録更新の手続きについての項目を担当、オンライン受講者からの質問が多く、例年より反応があった。実務編は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から9月を12月に延期して開催したが、新規登録が12月末だったため、強調して登録案内を行った。

今年度より実務編とフォローアップ研修にDHEATと福岡県の災害医療体制についての講義を追加したが、アンケート結果からは9割以上の受講者は理解できたと回答していた。次年度も引き続き実践に活かせる研修内容について検討していく。フォローアップ研修の事例については、最近の災害派遣がなく最新の情報を伝えられていないため、他県の事例等確認しながらホテル避難の事例についても検討していく。また、最近の災害派遣要請がなく、派遣経験のある登録者が減っているため、今後もリーダーを担える人材を育成していく必要がある。

災害看護支援マニュアル改訂にむけた協議では、委員会の時に十分な時間をとれず、メールでのやりとりが多かったが、内容を整理し、様式についても確認し、年度内に作成することができた。次年度のポケットマニュアル改訂につなげていく。

〔 8 〕 感染管理委員会

委員長 伊藤 恭子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 10回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月、2月中止。WEB会議含む)

2) 検討事項

- (1) 令和3年度研修会見直し、実施、報告について (2) 令和4年度事業計画・研修計画について
(3) 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修について (4) 介護施設ラウンドについて

2. 活動報告

1) 研修会等開催

(1) 研修名 高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修(精神科領域を含む)

開催日 10月28日

講師 コネクト合同会社

CEO 山口 征啓 氏

姫野病院

感染管理認定看護師 中西 穂波 氏

福岡県立精神医療センター太宰府病院 看護師長

笹隈 友美氏

内容 「高齢者施設の感染対策(高齢者の特性、高齢者介護施設の特性)」「認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性」「高齢者施設におけるラウンドの実施状況や施設クラスターについて」

対象 看護職及び看護職以外も可

受講者 67名

(2) 研修名 流行性疾患研修

開催日 令和4年1月15日

講師 九州医療センター

救命救急部長

野田 英一郎 氏

京築保健福祉環境事務所 保健師 守 真奈美 氏
 福岡徳洲会病院 感染症看護専門看護師 伊藤 恭子 氏

内 容 「福岡県における新型コロナウイルス感染症の対応について～多職種連携・公的立場から～」
 「新型コロナウイルス感染症の流行期における保健師の活動」「流行性疾患の経験から考える
 感染症対策の未来」

対 象 看護職及び看護職以外も可
 受講者 76名

(3)研修名 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修(県委託)(4日間):企画・講師を担当

開催日 1日目:8月3日、8月4日
 2日目:10月5日、10月16日
 3日目:10月23日、11月3日、11月4日、11月15日
 4日目:令和4年3月3日、3月5日

講 師 飯塚病院 医師 的野 多加志 氏
 福岡徳洲会病院 感染症看護専門看護師 伊藤 恭子 氏
 大牟田市立病院 感染管理認定看護師 川後田 美穂子 氏
 姫野病院 感染管理認定看護師 中西 穂波 氏
 九州労災病院 感染管理認定看護師 安部 美和 氏

演習講師

福岡徳洲会病院 感染症看護専門看護師 伊藤 恭子 氏
 大牟田市立病院 感染管理認定看護師 川後田 美穂子 氏
 姫野病院 感染管理認定看護師 中西 穂波 氏
 九州労災病院 感染管理認定看護師 安部 美和 氏
 総合せき損センター 感染管理認定看護師 松本 正幸 氏
 小倉記念病院 感染管理認定看護師 山下 恵美 氏
 白十字病院 感染管理認定看護師 山口 佐月 氏
 福岡ゆたか中央病院 感染管理認定看護師 中山佐代子 氏

内 容 「感染症とは」「感染管理マネジメント」「感染管理対策の実際」「手指衛生・防護具の使用法」
 「感染対策マニュアルの作成・改訂」「組織における感染管理活動の実際:活動紹介」「自施設の感染管理
 に対する課題の整理と対策立案」「取り組み報告及び今後の活動に向けた対策の検討」

対 象 感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されていない医療機関で勤務する保健師・助産
 師・看護師

受講者 375名

2)その他

(1)感染症流行に関する支援

①介護施設ラウンド(フォローアップラウンド)

特別養護老人ホーム ふるさとホーム(福岡県柳川市) 12月22日

ラウンド者:山口佐月(感染管理委員)、中西穂波(感染管理委員)

3. 今後の課題・検討事項等

「高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修(精神科領域を含む)」は、前年度まで介護施設向けと認知症患者を含む精神科領域向けの別研修としていた。しかし、年々受講者数の減少傾向がみられた。重複する内容があるため、今年度から一つの研修としたところ、受講者の増加もみられ、評価も高い研修となった。次年度も同内容で継続する。

今年度は、福岡県からの委託研修「感染管理リーダー看護師育成研修」に企画の段階から参加し、感染管理委員会の場で討議を重ねた。また、研修では講師・演習講師を委員全員で担うなど、本事業に貢献することができ、医療機関だけではなく地域全体の感染対策力を向上させることにつながったと考える。

また、介護施設ラウンドがフォローアップの1施設のみであったため、次年度は新規ラウンドを再開させることが課題である。

[9] 在宅支援・訪問看護委員会

委員長 山田 真理子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 6回(中止6回)
- 2) 検討事項
 - (1) 令和3年度訪問看護ステーション管理者企画交流会/講演会企画・開催・まとめ
 - (2) 在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関する実態調査後の分析

2. 活動報告

- 1) 会議等
 - (1) 3委員会(社会経済福祉委員会・看護師職能委員会Ⅱ・在宅支援・訪問看護委員会)合同活動に関わる3委員長会議 7月7日、11月5日 出席者：各1名
- 2) 学会・研修等参加
 - (1) 訪問看護サミット2021(オンライン) 11月6日 参加者：1名
- 3) 交流会・情報交換会等
 - (1) 研修名 訪問看護ステーション管理者交流会/講演会
開催日 9月19日(オンライン)
講師 慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 山岸 暁美 氏
内容 訪問看護ステーションにおけるBCPを考える
 - ・BCPとは何かを理解する
 - ・感染症発生時と自然災害時のBCP
 - ・策定とその後運用についての知識や方法対象 訪問看護ステーション管理者等
受講者 53名
 - (2) 情報交換会
開催日 11月10日
内容 訪問看護師養成講習会(新任期)における情報交換会
対象 訪問看護の新任者
参加者 55名

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度は令和2年度から引き継いだ「在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関する実態調査」実施後の分析を行った。令和4年度も引き続き取り組み、具体的な対策を講じていく。また、訪問看護を担う人材の確保と育成は今後の重要課題であり、訪問看護師養成講習会の教育体系についても検討していく。近年は訪問看護事業所数が増えているが、質の担保は十分でない。教育体系を見直すことで、提供する看護の質の向上を目指す。

[10] 広報出版委員会

委員長 川野 孝司

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 10回
- 2) 検討事項
 - (1) 「よかナースふくおか」の発行に向けて
 - ①企画・レイアウト作成 ②原稿依頼 ③原稿整理 ④校正(各号2回) ⑤アンケート結果確認
 - ⑥寄稿お礼のオリジナルグッズ作成 ⑦次年度年間計画
 - (2) 令和4年度事業計画・予算検討

2. 活動報告

- 1) 会議等

都道府県看護協会広報担当役員会議(WEB 会議) 11月12日 参加者3名

2) その他

(1) 寄稿依頼

- ①地域包括ケアシステムにおける在宅支援と訪問看護(NPO 法人緩和ケア支援センターコミュニティ)
- ②看護補助者との協働推進(久留米大学病院)
- ③コロナ禍での新人看護職員教育(西南女学院大学、地方独立行政法人芦屋中央病院)

(2) 協会ホームページ

- ①広報活動ページにおいて「よかナースふくおか」を発信し、アンケート・読者投稿企画を実施
- ②フォトレポートで「よかナースふくおか」の発行、記事内容を紹介

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 福岡県看護協会の事業内容や活動の周知を目的に、アンケート結果の意見・要望を反映させ、より内容の充実した「よかナースふくおか」を目指す。
- 2) 「よかナースふくおか」記事の詳細な内容をホームページに掲載する等、ホームページとの連動を更に推進する。

【企画のポイント】

- ①協会活動に関する情報の掲載
- ②幅広い年代に読んでもらえる紙面づくり
- ③新しく役立つ情報
- ④会員と協会双方向のコミュニケーションがとれる

[1 1] 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 玉井 照美

1. 委員会開催状況

1) 委員会 5回

2) 検討事項

- (1) 2020年度認定看護管理者教育課程 修了者数について
- (2) 福岡県看護協会認定看護管理者教育規程の改正について
- (3) 2021年度認定看護管理者教育課程 開催期間・担当教員について
- (4) 2021年度(第22回)認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者選考審査
- (5) 2019年度(第10回)サードレベル教科目再受講者の取り扱いについて
- (6) 2021年度(第35回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査(書面表決)
- (7) 2021年度(第11回)認定看護管理者教育課程サードレベル修了審査(書面表決)
- (8) 2021年度(第36回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査(書面表決)
- (9) 2021年度(第22回)認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了審査(書面表決)
- (10) 2022年度(第37回・第38回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者選考審査

2. 活動報告

1) 認定看護管理者教育課程の運営

教育課程	開催期間	日数	定員	応募者数	受講者決定数	受講者数	修了者数
ファーストレベル	第35回 6月3日～8月6日	21	60	147 (前年度 受講内定 者75名を 含む)	56	54	54
	第36回 10月1日～12月9日	21	60		57	57 (第34回受講 者4名含む)	56 (第34回受講 者4名含む)
セカンドレベル	第22回 9月9日～12月17日	33	40	38	38	38 (第21回受講 者1名含む)	38 (第21回受講 者1名含む)
サードレベル	第11回 7月1日～9月29日	33	30	35	35	30 (第10回受講 者2名含む)	29 (第10回受講 者2名含む)

2) 公益社団法人福岡県看護協会における認定看護管理者教育課程修了者数(令和4年3月31日現在)

教育課程	修了者数
ファーストレベル	3,745
セカンドレベル	1,115
サードレベル	324

3) 看護管理実践報告会

(1) 第10回サードレベル修了者及び第21回セカンドレベル修了者の実践報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

4) 看護管理実践報告集発刊

- (1) 2019年度(第10回) サードレベル看護管理実践報告集 53部 (令和4年3月発刊)
(2) 2020年度(第21回) セカンドレベル看護管理実践報告集 56部 (令和4年3月発刊)

3. 今後の課題・検討事項等

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、ファーストレベル(2回開催)、セカンドレベル、サードレベルの3課程とも集合研修で行った。対面・集合での研修は、受講者の満足度も高いため、令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた研修の企画・運営が必要である。対策として、定員数の縮小、受講者の毎日の健康チェック、講義・演習方法の工夫等を行っていく。

[12] すぴか☆くるめ運営委員会

委員長 寺岡 佐和

1. 委員会開催状況

1) 委員会 2回

2) 検討事項

- (1) 令和2年度実績報告について
(2) 令和3年度運営状況について
(3) 現状の課題と対応策について
(4) 令和4年度計画及び予算(案)について
(5) 令和4年度すぴか☆くるめ運営委員会事業計画(案)及び予算(案)について

2. 活動報告

看護小規模多機能型居宅介護事業所すぴか☆くるめは開所7年目を迎えた。地域に密着した質の高い在宅生活の支援と、安定した適正な運営を目指し、共生型サービス事業所の認定を受け、看護体制強化加算Ⅱを取得した。これらにより収支については大幅な改善が期待できる状況となったため、今年度は以下について協議した。

1) 訪問介護サービス提供体制の強化について

コロナ禍において家族介護のシーンが増え、宿泊より通所を希望する利用者が増加する等、利用者のニーズに変化が見受けられる。しかし、現在の通所受入者数は限界に近く、新たな利用者獲得と家族の介護負担軽減のためには、ニーズに応じた訪問介護サービスの強化が必要である。そこで、職員の世代交代に向けた取り組みや新たな加算の取得も視野に入れた体制作りにも努め、訪問介護サービスの提供体制の強化に必要な介護職員の安定的確保を目指すことが確認された。

2) 業務分担と事業所間連携について

コロナ禍前と比較すると、医療依存度や要介護度の高い利用者が増え、看護職員の業務負担が増加している。そこで、これまでの看護職員で業務を完結させる傾向から、今後は看護職員と介護職員との間で業務内容の相互理解と情報共有を進め、業務分担を図る方針に改めることが確認された。また、令和3年度は看多機事業所間で初めて業務連携を行ったこと、これにより日々の運営や事業継続困難時の助け合い等について相談できる窓口が数カ所でき、大きな収穫を得たことが報告された。

3) コロナ禍における看多機の現状について

開所当時と比較すると、支援の必要度合いが、要介護度だけでは予測できない方が在宅に増えてきている。例えば、認知症が進んで手厚い支援を必要としているにもかかわらず、認定された要介護度が低いため、採

算を超えて対応せざるを得ないケースがある。また、要介護度が重くなっても、提供するサービス内容の違いが明瞭でないため、費用負担の増加について家族から理解が得られにくい場合がある。これは、看多機の利用料金がサービス内容による設定ではなく、要介護度で段階別に設定されていることに起因する。看多機の安定した経営のためにも適切な要介護度の認定は重要であるが、このような介護認定の厳しい現状や利用料金の設定の在り方について、委員間で情報共有が図られた。

3. 今後の課題・検討事項等

- ・安定した介護職員の確保・定着
- ・訪問介護サービスの体制強化
- ・コロナ禍でも行える地域との関係づくり

[13] 看護研究倫理審査委員会

委員長 福田 和美

1. 委員会開催状況

1) 委員会 1回

2) 検討事項

- (1) 委員会の手引き・規程
- (2) 看護研究倫理審査要領
- (3) 看護研究倫理審査の手順

初回開催のため、倫理審査申請手順のフローチャートをもとに、申請様式1～7等を審議し合意を得た。研究計画作成のための参考文献も併せてホームページに申請案内を掲載した。

2. 活動報告

令和3年度は、審査申請はなかった。その結果、委員会は上記1回のみで開催となった。

3. 今後の課題・検討事項等

令和4年度は、審査申請がスムーズにできるようホームページへの掲載時期を早める。

[14] 規約検討委員会

委員長 安達 康子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 1回

2) 検討事項

- (1) 公益社団法人福岡県看護協会定款の一部改正について

2. 活動報告

感染症の流行や自然災害の発生等、危機管理体制下においても総会を開催し、的確かつ迅速に意思決定をする必要がある。そのため、令和3年度通常総会、理事会、地区支部長会等で、代議員制の導入について検討が重ねられた。委員会では、令和4年1月理事会において決定した代議員制の基本的枠組に基づき、定款の一部改正案について協議した。新たに正会員の中から選ばれる代議員に関する事項（定数、任期や選挙等）の新設、正会員の権利、その他文言や表現方法の変更について事務局より説明を受け、概ね承認し、一部の表記については理事会の判断に委ねることとした。また、この定款の一部改正（案）は、随時弁護士のリーガルチェックを受けながら作成を行っていることを確認した。

3. 今後の課題・検討事項等

- ・公益社団法人福岡県看護協会細則の一部改正等

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 8回
- 2) 検討事項
 - (1) 令和4年度改選役員候補者について(推薦活動及び承諾依頼)
 - (2) 令和4年度推薦委員候補者について(推薦活動及び承諾依頼)
 - (3) 令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦依頼
 - (4) 選挙管理委員会へ届出する候補者名簿作成
 - (5) 推薦委員会活動マニュアルの見直し

2. 活動報告

- 1) 第1回：令和3年度改選役員・推薦委員候補者承諾書確認、令和4年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者名簿作成、推薦委員会活動マニュアルの見直し
- 2) 前推薦委員長による選挙管理委員長への候補者名簿の届出
- 3) 第2回：旧推薦委員からの引継ぎ、推薦委員の役割確認、委員長・副委員長の選出、年間計画及び連絡網の作成
- 4) 第3回～6回：推薦活動
- 5) 第7回：推薦活動、令和4年度改選役員・推薦委員候補者承諾書確認及び名簿作成、推薦委員会活動マニュアルの見直し
- 6) 第8回：令和4年度改選役員・推薦委員候補者承諾書確認及び名簿作成、令和5年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者名簿の作成、推薦委員会活動マニュアル改訂版の修正と確認

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 推薦委員会活動マニュアルの定期的な見直し

プロジェクト報告

1. 委員会開催状況

活動のまとめを行った。

2. 活動報告

本プロジェクトは令和元年度に発足し3年間の活動期間の予定であった。令和元年度に、日本看護協会の研修分類に基づいた教育研修分類5分類として作成し、令和2年度の研修からこの分類に沿った研修計画を実施した。今年度はプロジェクトの最終年であり教育研修5分類とその内容については見直しが必要か検討した結果、委員会としてこのまま継続で良いこととなった。